

## **第2編 想定する武力攻撃事態および緊急対処事態**

区国民保護計画においては、以下のとおり都国民保護計画において想定されている武力攻撃事態4類型および緊急対処事態4類型を対象とする。また、それぞれの類型において、NBC<sup>(\*)</sup>兵器を用いた攻撃が行われる可能性があることも考慮する。

## 第1章 武力攻撃事態

区国民保護計画においては、武力攻撃事態<sup>(\*\*)</sup>として、都国民保護計画において想定されている以下に掲げる4類型を対象とする。

事態類型	一般的な特徴、本区で想定される事態等
<p><b>1. 着上陸侵攻</b> 多数の船舶等をもって沿岸部に直接上陸して、我が国の国土を占領する攻撃</p>	<p>《攻撃目標となりやすい地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 船舶により上陸を行う場合は、上陸用の小型船舶等が接岸容易な地形を有する沿岸部が当初の侵攻目標となりやすいと考えられる。</li> <li>○ 航空機により侵攻部隊を投入する場合には、大型の輸送機が離着陸可能な空港が存在する地域が目標となる可能性が高く、当該空港が上陸用の小型船舶等の接岸容易な地域と近接している場合には特に目標となりやすいと考えられる。なお、着上陸侵攻の場合、それに先立ち航空機や弾道ミサイルによる攻撃が実施される可能性が高いと考えられる。</li> </ul> <p>《想定される主な被害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主として、爆弾、砲弾等による家屋、施設等の破壊、火災等が考えられ、石油コンビナートなど、攻撃目標となる施設の種類によっては、二次被害の発生が想定される。</li> </ul> <p>《被害の範囲・期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般的に国民保護措置を実施すべき地域が広範囲になるとともに、その期間も比較的長期に及ぶことが予想される。</li> </ul> <p>《事態の予測・察知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 攻撃国の船舶、戦闘機の集結の状況、進行方向等から、事前予測が可能である。</li> </ul> <hr/> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 着上陸侵攻のような大規模な武力攻撃事態が発生する可能性は考えにくいですが、都心部であることおよび付近に空港・港湾が存在することから、区が侵攻の対象や経路となることも想定される。</li> </ul>

(\*) N：核（物質）Nuclear B：生物剤 Biological C：化学剤 Chemical

(\*\*) 武力攻撃事態とは、我が国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態、または武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められる事態をいう。

事態類型	一般的な特徴、本区で想定される事態等
<p><b>2. ゲリラや特殊部隊による攻撃</b></p> <p>比較的少数の特殊部隊等を潜入させ、重要施設への襲撃や要人の暗殺等を実施する攻撃</p>	<p>《攻撃目標となりやすい地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都市部の政治経済の中核、鉄道、橋りょう、ダム、原子力関連施設などに対する注意が必要である。</li> </ul> <p>《想定される主な被害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少人数のグループにより行われ、使用可能な武器も限定されることから、主な被害は施設の破壊等が考えられる。</li> </ul> <p>《被害の範囲・期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 被害の範囲は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的であるが、攻撃目標となる施設の種類によっては、二次被害の発生も想定される。</li> </ul> <p>《事態の予測・察知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警察、自衛隊等による監視活動等により、その兆候の早期発見に努めることとなるが、事前にその活動を予測あるいは察知できず、突発的に被害が生ずることも考えられる。</li> </ul> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本区には各国の大使館、オフィスビルや商業ビルが立ち並ぶことから、区がゲリラや特殊部隊による攻撃対象となることが想定される。</li> </ul>
<p><b>3. 弾道ミサイル攻撃</b></p> <p>弾道ミサイルを使用して我が国を直接打撃する攻撃</p>	<p>《攻撃目標となりやすい地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発射の兆候を事前に察知した場合でも、発射された段階で攻撃目標を特定することは極めて困難である。</li> </ul> <p>《想定される主な被害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常弾頭の場合にはNBC弾頭の場合と比較して被害は局限され家屋施設等の破壊、火災等が考えられる。</li> </ul> <p>《被害の範囲・期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弾頭の種類（通常弾頭またはNBC弾頭）により、被害の様相が大きく異なる。ただし、着弾前に弾頭の種類を特定することは困難である。</li> </ul> <p>《事態の予測・察知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発射後、極めて短時間で我が国に着弾することが予想される。</li> </ul> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都全体が標的となることが想定される。</li> <li>○ 本区が攻撃対象となる場合に加え、近隣区市からの避難住民等の受け入れが必要となる場合も想定される。</li> </ul>

<p><b>4. 航空攻撃</b></p> <p>爆撃機および戦闘機等で我が国領空に侵入し、爆弾等を投下する攻撃</p>	<p>《攻撃目標となりやすい地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 航空攻撃を行う側の意図および弾薬の種類等により異なるが、その威力を最大限に発揮することを敵国が意図すれば、都市部が主要な目標となることも想定される。また、ライフラインのインフラ施設が目標となることもあり得る。</li> </ul> <p>《想定される主な被害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常弾頭の場合には、家屋、施設等の破壊、火災等が考えられる。</li> </ul> <p>《被害の範囲・期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 航空攻撃はその意図が達成されるまで繰り返し行われることも考えられる。</li> </ul> <p>《事態の予測・察知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弾道ミサイル攻撃の場合に比べその兆候を察知することは比較的容易であるが、対応の時間が少なく、また攻撃目標を特定することが困難である。</li> </ul>
	<p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都全体が標的となることが想定される。</li> <li>○ 本区が攻撃対象となる場合に加え、近隣区市からの避難住民等の受け入れが必要となる場合も想定される。</li> </ul>

## 第2章 緊急処理事態

区国民保護計画においては、緊急処理事態<sup>(\*)</sup>として、都国民保護計画において想定されている以下に掲げる4類型を対象とする。

### 1 攻撃対象施設等による分類

事態類型	一般的な特徴、本区で想定される事態等
<b>1. 危険物質を有する施設への攻撃</b>	<p>≪事態の特徴≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原子力事業所等の破壊が行われた場合、大量の放射性物質等が放出され、周辺住民が被ばくするとともに、汚染された飲食物を摂取した住民が被ばくする。(都内には原子力事業所等は存在しない。)</li> <li>○ 石油コンビナートおよび可燃性ガス貯蔵施設等が爆破された場合、爆発および火災の発生により住民に被害が発生するとともに、建物、ライフライン等が被災し、社会経済活動に支障が生ずる。</li> <li>○ 危険物積載船への攻撃が行われた場合、危険物の拡散による沿岸住民への被害が発生するとともに、港湾および航路の閉塞、海洋資源の汚染等社会経済活動に支障が生ずる。</li> <li>○ ダムの破壊が行われた場合、下流に及ぼす被害(水害)は多大なものとなる。</li> </ul> <p>≪本区で想定される事態≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本区は、都内で唯一、大井火力発電所および品川火力発電所という火力発電所が立地するため、これらが攻撃対象となることが想定される。</li> <li>○ 区内の火力発電所においては、住民の居住地域や周辺事業所などに被害が発生しないよう離隔させるとともに自主的に消火設備を配備している。しかし、火力発電所が大規模に爆破された場合は、爆発物の影響により住民や周辺事業所の従業員等に被害が発生するとともに、近くの交通機関や商業施設等が機能不全に陥り、社会活動等に支障を来たすおそれがある。</li> <li>○ 火力発電所へ燃料輸送するタンカーなど危険物質積載船が爆破された場合、危険物質の海上漏洩が発生するおそれがあるため、オイルフェンス展張により拡散を防ぎ、地域の関係機関と連携し、被害を最小限に止めるよう備えている。しかし、爆発物の影響により沿岸の住民や周辺事業所の従業員に被害が発生するとともに、品川埠頭をはじめ港湾・航路の閉塞、海洋資源の汚染等、社会活動等に支障を来たすおそれがある。</li> </ul>

<sup>(\*)</sup> 緊急処理事態とは、武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて、多数の人を殺傷する行為が発生した事態、または発生する明白な危険が切迫していると認められる事態で、国家として緊急に対処することが必要なものをいう。

<p><b>2. 大規模集客施設等への攻撃</b></p>	<p>《事態の特徴》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模集客施設（ターミナル駅、劇場、大規模な商業施設など）や列車等の爆破が行われた場合、爆破による人的被害が発生し、更に施設が崩壊する場合には、人的被害は多大なものとなる。</li> </ul> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本区は鉄道輸送網が充実しており、東海道新幹線も区内を通過する。大井町、目黒、五反田、大崎など、乗降客数の多い鉄道ターミナル駅が存在することから、攻撃対象として想定される。</li> <li>○ 大井町、目黒、五反田、大崎、天王洲周辺にオフィスビルや商業ビルが多数立地している。また、品川区立総合区民会館〔きゅりあん〕、大井競馬場などの大規模集客施設が存在することから、攻撃対象として想定される。</li> </ul>
-------------------------------	---

## 2 攻撃手段による分類

事態類型	一般的な特徴、本区で想定される事態等
<p><b>1. 大量殺傷物質による攻撃</b></p>	<p>《事態の特徴》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3章の「NBCを使用した攻撃」と同様の被害を発生させる。</li> </ul> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本区は鉄道輸送網が充実しており、東海道新幹線も区内を通過する。大井町、目黒、五反田、大崎など、乗降客数の多い鉄道ターミナル駅が存在することから、攻撃対象として想定される。</li> <li>○ 大井町、目黒、五反田、大崎、天王洲周辺にオフィスビルや商業ビルが多数立地している。また、品川区立総合区民会館〔きゅりあん〕、大井競馬場などの大規模集客施設が存在することから、攻撃対象として想定される。</li> </ul>
<p><b>2. 交通機関を破壊手段としたテロ</b></p>	<p>《事態の特徴》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 航空機等による自爆テロが行われた場合、主な被害は施設の破壊に伴う人的被害であり、施設の規模によって被害の大きさが変わる。</li> <li>○ 攻撃目標の施設が破壊された場合、周辺にも大きな被害が発生するおそれがある。</li> <li>○ 爆発、火災等の発生により住民に被害が発生するとともに、建物、ライフライン等が被災し、社会経済活動にも支障が生ずる。</li> </ul> <p>《本区で想定される事態》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 破壊の標的となる建物は考えにくいですが、本区は都心部であり、付近に空港が存在することから、羽田空港への着陸機がハイジャックされ本区に接近するなどが想定される。</li> </ul>

### 第3章 NBCを使用した攻撃

武力攻撃事態、緊急対処事態の各類型において、NBC攻撃（核等または生物剤もしくは化学剤を用いた兵器等による攻撃をいう。）が行われることも考慮する。

種別	特徴
核兵器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 核兵器を用いた攻撃による被害は、当初は主に核爆発に伴う熱線、爆風および初期核放射線によって、その後は放射性降下物（灰等）や初期核放射線を吸収した建築物や土壌から発する放射によって生ずる。</li> <li>○ ダーティボムは、爆薬と放射性物質を組み合わせたもので、核兵器に比して小規模ではあるが、爆薬による爆発の被害と放射能による被害をもたらす。</li> <li>○ 放射性物質または放射線の存在は五感では感知できない。</li> <li>○ 原因となる放射性物質や放射線種の特特定が困難である。</li> </ul>
生物兵器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人に知られることなく散布することが可能である。</li> <li>○ 生物兵器が使用されたと判明したときには、感染者が移動することにより、二次的な感染を引き起こし、広範囲に多数の感染者が発生する恐れがある。</li> <li>○ 生物兵器としては、一般的に、天然痘、炭疽菌、ペスト等があげられている。</li> </ul>
化学兵器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急性症状を有する死傷者が発生するが、原因物質の特特定は困難である。</li> <li>○ 建物屋内や交通機関内部など閉鎖的な空間で使用された場合、多数の死傷者が発生する可能性がある。</li> <li>○ 地形・気象等の影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリン等の神経剤は地をほうように広がる。</li> <li>○ 特有のにおいがあるもの、無臭のもの等、その性質は化学剤の種類によって異なる。</li> <li>○ 化学兵器としては、一般的に、サリン、VXガス、マスタードガス等があげられている。</li> </ul>

## 第4章 緊急対処事態に関する読み替え

本計画における「武力攻撃事態等」には、緊急対処事態を含む。「緊急対処事態」の場合は、次表のように読み替える。

武力攻撃事態の場合	緊急対処事態の場合
対処基本方針	緊急対処事態対処方針
国民保護措置	緊急対処保護措置
国民保護対策本部	緊急対処事態対策本部
国民保護対策本部長	緊急対処事態対策本部長

なお、次の規定については、緊急対処事態においては準用されない。

- ・ 事態対策本部長の総合調整の権限に関する規定
- ・ 内閣総理大臣の指示・代執行権に関する規定
- ・ 国際人道法に関する規定
- ・ 赤十字標章等、特殊標章等に関する規定
- ・ 生活関連物資等の価格の安定、金銭債務の支払猶予等に関する規定 等